

議会だより発行準備特別委員会会議録

(令和6年1月17日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会だより発行準備特別委員会会議録

本日の会議 令和6年1月17日(水)

招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長 金 繁 典 子
委員 尾 崎 恵 一
委員 池 田 栄 次

副委員長 少 林 法 子
委員 嘉 喜 山 茂
委員 吉 田 茂 生

欠席委員

なし

出席委員外議員

議 長 佐々木史仁

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長 本 多 幸 雄
局長補佐 藤 本 吉 信

局長補佐 小 松 一 恵

本日の委員会に付した案件

- 「議会だよりの発行準備に関する調査研究」
(1) 愛南町議会だより発行要領及び編集要領(案)
(2) その他

開 会 10時00分

閉 会 10時50分

○**少林副委員長** 時間になりましたので、それでは議会だより発行準備特別委員会を始めさせていただきます。委員長挨拶をお願いします。

○**金繁委員長** おはようございます。お忙しい中全員集まっていただきまして、ありがとうございます。元旦には、能登半島の大地震がありまして、被災者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

早速、議会だより準備特別委員会、今年最初の会議を始めたいと思います。

前回一応、こういう議会だよりを出したいですということでもとめができました。一応、もう一度資料のほう、お手元に見ていただいたかと思うんですけども、この内容で全員協議会のほうに提出して、補正予算を要望する流れに持っていったいいですかという確認をできたらと思います。何か御意見ありましたらお願いします。

前回話し合って追加した部分については、事務局のほうで赤字で書いていただいています。確認いただけましたでしょうか。

嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** 2ページの委員会名、これがまだ決まっていなと思うんですけど。

○**金繁委員長** そうですね。ここで決めとったほうがいいんですよね。委員会が始まってから、決めるより。

局長、お願いします。

○**本多事務局長** 失礼します。一応、この特別委員会の案として、全員協議会なりに提案するということになろうかなと思います。

以上です。

○**金繁委員長** 案として、どちらか一つ選んでおいたほうがいいんですかね。

最終的に決めるのは、全協かとは思いますが。

嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** やはりここは一本化したほうがいいんじゃないかなとは思いますが。この前、全協で僕はちょっと覆してしまったんですけど、そこも含めて。

○**金繁委員長** その議会だより編集常任委員会とするか、広報広聴常任委員会とするか、一応案としてこの委員会で一つに決めておきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

前回、広報広聴委員会とする方と意見は分かれたと思うんですが、もう一度確認させていただいていいですかね。

嘉喜山委員は、議会だよりじゃなくて広報広聴、じゃなくて議会だよりに変えたんですね。議会だよりの編集常任委員会。

嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** 私は、前回、広報広聴常任委員会という提案をしました。全協の中で、広聴を削ったという発言はしましたが、今回の中で、決を採るのであれば、広報広聴常任委員会ということ。

○**金繁委員長** なるほど、失礼しました。私は議会だより編集常任委員会のほうに変えるという意味かと、全協で言われたのを勘違いしていました。広報広聴ではなく広報常任委員会という新たな案ですね。

嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** もう既にあの場では意見は言いましたが、この場ではもうこの2つに絞られておるんで、もう広報広聴常任委員会で行きます。

○**金繁委員長** そうですか、分かりました。

ほかの方はいかがですか。

尾崎委員。

○**尾崎委員** 私は、議会だより編集常任委員会ということで押しておるんですけど、この中には広

報広聴に関することから議会だより発行、全てを網羅したという意味で、議会だより編集常任委員会と。要領にも、議会だより発行要領、議会だより編集要領という名称になるのではないかと思うんですが、そうするとやっぱり合わせとったほうが明快に分かりやすいかなと、そんな思いがあります。

○金繁委員長 議会だよりの発行に必要な範囲で町民の意見を聞く広聴とかっていうことも含まれているということですね。

では、順番にいきますか。池田委員、いかがですか。

○池田委員 僕は、議会だより編集常任委員会。

○金繁委員長 吉田委員、いかがですか。

○吉田委員 難しい判断ですけど、議会だよりに今の解釈を入れるのであれば、今、尾崎委員が言われたように議会だよりの、その編集の中でさっきの広聴も幅広くっていう面も含めるのであれば、議会だより編集常任委員会でもいいかなと。広聴まで入れるとちょっと幅が広過ぎるってうか重くなるんで、議会だより編集常任委員会でもいいのかなと、私は思います。

○金繁委員長 副委員長、どうですか。

○少林副委員長 分かりました。はい。私も議会だよりのほうで。一つは外から見ても分かりやすいということ、そして広聴になるとほかの部分の広聴もたしかあるはずなので、ちょっと広くなり過ぎるかなと。もう所管の中を見ましたら、広報広聴に関することというのに入っていますので、分かりやすい議会だよりのほうにしたいと思います。

○金繁委員長 それでは、議会だより編集常任委員会の意見が多数ですので、この委員会の案としては、議会だより編集常任委員会で決定したいと思います。

ほかに何か御意見ございませんでしょうか。

尾崎委員。

○尾崎委員 直接編集要領（案）の変更でも何でもないんですけども、事前に提示していただいた資料、目を通しよったら、内子町の議会だよりが、最終ページが出ておりましたよね。あれにあるQRコードが付されておりまして、あの辺ちょっと目を通してみたら、議会とか、議会だよりに対して町民の忌憚のない意見をどうぞ返信してくださいというようなことで、QRコードがついておりました。これはいいなと感じておりまして、ぜひともその辺は、今後、発行する中で、我が愛南町の議会だよりも採用していければいいのではないかと感じております。

○金繁委員長 そうですね。ありがとうございます。

すばらしいですね。私、チェックできていなかったんですけど、ありがとうございます。ぜひやりたい。いいですね。ありがとうございます。ぜひ生かしていけたらと思います。

事務局長、お願いします。

○本多事務局長 今回の常任委員会の関係の論議の中で、所管についてなんですけども広報広聴に関することというところがありますけども、これが全員協議会の中の議論の中で広聴ということにすると、これは議会全体に係っていることなんでこれについては除いたらというような御意見もあったかと記憶しておるんですけども、その辺りもちょうと整理していただいたほうがいいのかなというふうには思います。

以上です。

○金繁委員長 はい、どこですかね。

（発言する者あり）

○金繁委員長 この所管についてどういたしましょうか。議会だより、先ほど、尾崎委員から出されたように、議会だよりの範囲内であっていうことを分かる表現しますかね、所管を。もしくは議会だより発行に関することだけにしてもいいのかなという気もしますが、ごめんなさい。

嘉喜山委員が早かった。嘉喜山委員、お願いします。

○嘉喜山委員 えっと、もうそういう名前にするのであれば、もう広報についても除くべきかなと

思います。

○金繁委員長 ということは、及びの以下のところだけにするということですよ。前半削って。尾崎委員は。

○尾崎委員 一緒です。

○金繁委員長 今、後半の議会だより発行に関することのみを所管と表記するという意見ですけど、ほかの方もそれでよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○金繁委員長 それではそのようにいたします。

ほかに検討事項等ないですか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 今度全協に出して、3月議会で提案ということに、常任委員会。

○金繁委員長 そうですね、その辺も皆さんの話合いで、時期とかはまだ決めていないので。

○嘉喜山委員 本当に、今まだ僕としては準備不足と思うとるんやけど、それで本当に常任委員会に移っていいのか。それよりも、この特別委員会を残して、それで、例えば実際に、その編集して、試作版を作ってもうちょっと練り上げた上で常任委員会に移行するのか、その辺も協議したほうがええと思うんですけど、いかがでしょう。

○金繁委員長 実際に編集してというのは、町民の人に出すものとして編集ではなく、何かテストみたいなことをするということですか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 もう町民に出す前に一度作った上で、全協なり何なりで意見をもらって、限られた範囲で、それで、改良するなりいろいろ試行錯誤した上で、これならできるねという状態まで持って行ってすべきかなとは思んですけど。

○金繁委員長 その目的というのは、スケジュール感とか、できるかどうかという、自信を持ってもらうとかいうことですね。ちょっと経験してもらおうと。全く真っ白で突入するのではなく、ある程度経験してもらおうというような意味ですかね。

今、嘉喜山委員からそのような意見が出されましたけれども、ほかの方、御意見いかがでしょうか。

池田委員。

○池田委員 嘉喜山委員の意見に賛成です。やっぱり実際作ってみて、自分らの問題点とかいろんなものを確認する意味もあるし、また、限られる範囲ではあると思いますが、いろいろほかの人の、ほかの立場の方の意見も聞いてみて、スムーズに議会だより常任委員会をつくって、スムーズに移行できるような体制を取ったほうがいいと思います。

○金繁委員長 はい。その場合に、確認なんですけど、その議会だよりを実際に記事を書く人は、一般質問をすれば一般質問の本人が要約を書く、例えば議長コラムですと議長に書いてもらうとか、いろいろこのメンバー以外の人への割り振りももちろん必要になるんですけど、それも含めて一旦やってみるということでもいいですかね。そうでないとね、どんな協力体制が必要かというのも分かってもらえないですもんね。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 やはり、いろんなジャンルの記事を書けるという意味でも、いろいろ試行錯誤したほうがいいと思うんで、例えば、今言われたように、議長が、今回の定例会においてどう考えたのかとか、一般質問以外でも、やはり議員の視点というのもあると思うんで、その辺もやればいいのかとは思っています。

以上です。

○金繁委員長 作るという、実際に作るという立場に立ってみて、またこういう内子町とかほかの議会だよりをまた参考にする意味とかも変わってくると思うので、なるほど、そうですね。

ほかの方どうですか。

○**少林副委員長** 私も賛成だという意見で、組織を作ってみたけど、いざやってみたらいろいろ動かんことあるんですね。だから組織の点検という点、それから本当に町民に分かりやすいものになっているとか、ほかの議員さんたちも、心構えも要りますし、いろいろな面で。こういうふうなデモテープじゃないけどデモのたよりを作ってみてチェックしていくと、体制的にもチェック、内容もチェック。そして、思うのはその後こんなのでしょうかということ。私たちが学んできた大学の先生なり、有識者の方にも一度見ていただいたら、私たちも勉強になるんじゃないかと思います。

○**金繁委員長** ほかの方いかがですか。

去年東京に研修に行くときに、広報の専門家で中村先生、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長が紹介してくださった方に、東京でお会いできたらという話もあったと思うんですけど、あの方の研修を受けたいですねという話はここでもしていたんですけど、その研修は来年度にという話でもありました、そのときに。あの先生の研修なりを、例えば今、嘉喜山委員がおっしゃったようなものを作ったときに見ていただいて、アドバイスいただくとかっていうのもいいかもしれないですね。

どうでしょう、事務局、局長すみません。先生の研修計画みたいなものは、来年度、考えていらっしゃるものあるんですかね。

事務局長、お願いします。

○**本多事務局長** 講師は特に定めてはないんですけども、そうやって呼ばれるのはもちろん事務局としても把握はしておりますので、研修予算の中で対応できるかなとは思っております。

以上です。

○**金繁委員長** ありがとうございます。たしか佐久間先生でしたかね。

いかがでしょうか。もし、デモを作るとすると、テスト版を作るとすると、その佐久間先生のアドバイスをいただけるような機会も、できるだけ早くお願いするということも同時進行できたらと思いますが。

尾崎委員。

○**尾崎委員** 3月議会に何が何でも出す必要もないので、嘉喜山委員が言われたように、試用期間のようにもう一遍作ってみて、そのチェック、そのチェックを研修の講師なりにまた見てもらうて、そこで勉強してそれから正式に手続に入っても構わんのやなど、私はそのように思っております。

○**金繁委員長** ありがとうございます。

吉田委員。

○**吉田委員** これ編集要項がまだ確定されていませんよね、まだ案の段階ですから。そこからスケジューリングしていくと、いつの発行で考えていらっしゃるんですかね。

○**金繁委員長** それはみんなで考えることです。

○**吉田委員** みんなが考える。

○**金繁委員長** できれば早いほうがいいですけど、でも、いいものをね。

吉田委員。

○**吉田委員** これまだ編集要項これから3月に確定をして、そこから3月の議会の議会だよりの準備、第1号とか試作して、5月ぐらいに発行予定で持っていくっていう方向ですかね。それもまだ確定はできていない。

○**金繁委員長** 試作にせよ、一般町民にも配るものを作るにしろ、3月議会の報告を含んだ議会だよりの作るのであれば、そうですね、5月に発行ということになりますね、5月末ですかね。6月ですかね。

事務局長、お願いします。

○本多事務局長 今回の要領（案）でございましたら、3月定例議会の発行については、6月1日になると思います。なので、作業は5月の中旬ぐらいには終了させておかないといけないと、そういったスケジュールであるかと思います。

以上です。

○金繁委員長 吉田委員の疑問は、いいですか。

○吉田委員 それやったらもう一回すみません。

逆にスケジュールを決めて、発行なら発行でどこまで発行するか分かりませんが、試作を作ってみるといのは、その準備特別委員会で作ると。その後正式に常任委員会を設置するという事ですよね。それと早くて6月議会が終わった段階の9月1日で常任委員会として第1号ということですかね。6、9、そういうことですかね。

○金繁委員長 そうですね。

○吉田委員 それでいいと思います。だからもうスケジュールを決めていただいて、もう進んでいくしかないですよ、準備委員会としては、はい。

○金繁委員長 ありがとうございます。

皆さんの御意見としては、一応テスト版をやってみようかということによろしいですか。

（「異議なし」と言う者あり）

○金繁委員長 そしたら、何を決めたらいいんですかね、3月議会に向けてこの要領をフィックスすると、中間報告か何かにするということになるんですかね。

事務局長、お願いします。

○本多事務局長 休憩、構いませんでしょうか。

○金繁委員長 休憩します。

（休憩）

○金繁委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を進めます。

それでは、今度の3月の本会議では、中間報告をすることはなく、今度の全協で、まず議会だよりの試作を制作したく御協力をお願いしますと依頼をいたしましょう。

目標としては、9月に常任委員会をつくり、かつ9月の議会の報告から議会だよりを作ることを目指しますが、3月の本会議の後、テスト版を作ってみて、できれば佐久間先生の講師として研修を受けてアドバイスをいただいて、そのテスト版でそのまま進んでいいのか、それとも加えたり編集変更したほうがいいのかとかアドバイスをいただき、かつ、要領についてもアドバイスをいただいて、次、内容を固めた上で、常任委員会の設置をまたここで話し合うと。その常任委員会の内容が確定というか委員会の中で決まりましたら、それを9月議会で上程して決定するという流れでよろしいですかね。

（「はい」と言う者あり）

○金繁委員長 では、それで進めたいと思います。

尾崎委員。

○尾崎委員 先ほどの話でちょっと確認ですが、議会だよりの発行要領（案）のほうで、2番に発行日というのがありますが、年4回。ただし臨時で発行することもできるということで、今あるんですけど、4年に1回の議員の改選期においては、なかなかの作成が困難になるので、4年に1回、議員の改選期においては、飛ばせる、作らないことのような文言をここに入れたらどうかと思うんですけれども。

○金繁委員長 いかがですか、ほかの方。

（「異議なし」と言う者あり）

○金繁委員長 もう出さないって決めますか。

（発言する者あり）

○金繁委員長 嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 基本として、この4回を提示しただけで、基本としておれば出さないこともできるんで、それでいいんじゃないですか。

もう一遍、はい。基本として掲げるだけなんで、基本を守らないことも可能やしという意味合いです。

○金繁委員長 池田委員。

○池田委員 そういう解釈するんなら、原則としてと入れとったら分かりやすいんじゃないかなと思います。

○金繁委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 分からんこともないんやけど、臨時で発行することもできるってことが入っておるので、ここの兼ね合いはどうなるのかなと思うんですが。

○金繁委員長 嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 当然、原則としてということを入れることによって、ただし書から以降は削るということになると思います。私の意見では。

○金繁委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 私もそうあるべきかなと思います。

○金繁委員長 原則を入れるということでもいいですかね。

皆さんそれでいいですか。

(「はい」と言う者あり)

○金繁委員長 4年に1回の選挙のときに出さないって決めるかどうかなんですけれども、それでいいかどうかというのはちょっと話し合ったほうがいいかなと私は今思ったんですけど。というのが、3月議会というのは次年度の予算を決める大事な議会なので、やはり報告とか町民の意見とかも本来なら、議会だよりは出したほうがいいのではないかなとは思っています。

ただタイトなというかもう時間がないので、2週間ぐらい、3週間ぐらい前から作るということ、またメンバーも替わってしまうので、同じものを出すというのは不可能だと思います。

どうしたらいいのかっていうところは今ここで決めるのではなくて、やっぱり佐久間先生の意見とかも聞きながら、またほかの議会の実態なども調べて出さないなら出さないっていうことを後で決めてもいいのかなという気はするんですけれども、いかがでしょうか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 僕の考えとしては、今、広報あいなんに出ている内容、予算とか、議決状況とか、こういったものはそのまま、今のままやってもらったらそれでいいと。それ以外の議会独自の情報だけを議会だよりに載せるという考えでいるんで、その辺は臨機応変にイケたら。3月議会、今の通常であれば改選後についても、やはり議決情報以外になれば、それほど問題にはならんんじゃないかなとは思ってますけど。

○金繁委員長 私が先ほど発言したきっかけは、やっぱり広報あいなんで決算とか予算、数字とかグラフ、一生懸命作って出されているんですけども、町民の方からすると分かりにくいという声も結構あるんですね。あれを例えばその町議会の視点からこういうところにもっと力入れてほしいとか、ここって本当に大事なのかという意見が出てくると思うんですね。3月議会的一般質問の中でもそういうものがあるでしょうし、なので出さないという決断はもうちょっと情報を集めてからのほうがいいのかなと私は思ったんですね。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 趣旨的には今言われたことと同じことで、視点変えればやはりそういうことは必要だと思うんで、ただ単なる議決情報、今載っておるやつについてはもうそのまま、そこは、今までどおりやってもらうということで、僕は思っています。

○金繁委員長 選挙のときと重なる議会だよりを、その議会だよりをルーチンで出す作業をするということはもうまず無理だし、議員の資格がそもそもないわけなので、4月の選挙の後ね、議

員が入れ替わるってということもありますので、常任委員会のメンバー自体も変わっていくということになっていくと思うので、同じものを出すというのはまず不可能ですよ。

どうでしょうか。この件については、また常任委員会のほうなり、その佐久間先生のまずその準備期間の中で、また議論を深めたらと思うんですが、よろしいでしょうか。

尾崎委員。

○尾崎委員 結構です。お願いします。

○金繁委員長 ほかに決めておくことありますか。

事務局長。

○本多事務局長 要領（案）の作業区分の中の、議長の作業区分で議会だよりの発行について総括するという部分について議論があったかと思えます。これの参考資料としまして、今回内子町の議会だよりの最終ページのほうを資料として掲載しております。その左の一番下のほうをちょっと見ていただきたいんですけども、一応、発行、内子町議会、発行責任者、議長、そして編集、常任委員会というふうになっております。ここで発行責任者が議長となっておりますけども、そういった意味で、いわゆる発行についての総括ということで案として、作業区分として挙げさせていただいております。

そういった事務局の理解なんですけども、その中で実際この作業区分の内容でよろしいかどうか御協議いただきたいと思っております。

以上です。

○金繁委員長 ありがとうございます。議長の権限というか、議会だより発行について総括するということですね。総括の意味としては、こういうふうに対外的に発行責任者、議長ですということと問合せとかがあるときに議長名で回答するとかいうことを意味するのかなと思えますが、皆さんいかがでしょうか。

それからもう一つ、全ての編集が終わって最終稿をこれでいいですよとゴーサインを出していただくのも、また議長ということになるのかなと思えますけれども。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 ①はこれでいいと思うんですけど当然のことだと思いますけど、②については、議長も一議員だから、（４）のその他、編集委員会が指定する原稿でカバーできると思います。だから②については、削っていいと思います。

○金繁委員長 ①と②それぞれ意見を言っていただきましたが、総括するのほうについてはどうですか。異論ないですか。

（「なし」と言う者あり）

○金繁委員長 ないということなので、このままお願いします。

②の原稿を作成する、議長も議員なので、ここにわざわざ書かなくてもよいという御意見です。皆様どうでしょうか。よろしいですか。

事務局は、これは別に削除しても大丈夫ですか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 議長として書く原稿という意味合いであれば、それはそれで置いておいてもいいと思います。

○金繁委員長 そうですよ。作るかどうか分かりませんが議長コラムとかね、年始の挨拶とかね、議長からのメッセージ、あり得ますね。残しておきますか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 それであれば（３）、（４）と同じように、何とかする原稿という取り方のほうがいいかなと思います。

○金繁委員長 おっしゃる意味は、例えば、議員の①②というふうに特定をしたほうがいいのかということですか。

代案ありますか。

嘉喜山委員、お願いします。

○嘉喜山委員 代替案って言われると何とも言えんのかなけど、編集委員会が指定する議長としての原稿を作成する。

○金繁委員長 そうですね、私も同じこと考えていました。

作業区分（１）議長、②編集委員会が指定する議長としての原稿を作成するということがよろしいでしょうか。

（「はい」と言う者あり）

○金繁委員長 異論ないようですので、そう変更したいと思います。よろしいですかね、事務局。ではお願いします。

ほかに何か御意見ございますか。これでよろしいですか。一応、全協に出す内容として。

事務局長、お願いします。

○本多事務局長 一点ちょっと発行要領（案）の６番の構成のところなんですけども、１ページ当たりの構成は１行１５文字云々とかありますけども、これも一応今後の委員会の協議で変更の可能性はあっておりますが、私の理解では、一応これを基本としておるので、一応このままでということではなかったかと思うんですけども、一応その確認をお願いしたいと思えます。

以上です。

○金繁委員長 すみません、このままでいいかどうかということですか。

事務局長、お願いします。

○本多事務局長 構成については、やはりこれを基本とするという形で定めているので、今後の協議で変更の可能性はあるとはなっておりますけども、取りあえず基本としてこのままの状況で、要領案としては置いておくというような理解であつたんじゃないかなと理解しておりますので、その辺りの確認をしていただければと思います。

以上です。

○金繁委員長 確認です。

構成の１ページ当たりの構成は、１行１５文字３行４段組１，９８０文字を基本とするとあります。ページによっては字が大きくなったりとか小さくなったりということもあると思うんですけども、これを基本とすると、原則としてはこれでいきますということよろしいですか。

（「はい」と言う者あり）

○金繁委員長 作ってみて、テスト版を、やっぱり読みにくいかなればもちろん変更あると思いますが、一応これでよろしいですね。これでお願いします。

ほかは、何かありますか。

ないようですので、これで一応、方向性は決まったということで、全協に提出をし、協力依頼をしましょう。議長よろしく願いいたします。

それでは、今日の特別委員会はこれで終了したいと思えます。

御苦労さまでした。ありがとうございました。

委員長